保育だより

2026年　11月号

社会福祉法人いずみ会
幼保連携型認定こども園
つるた乳幼児園
園長　福　澤　紀　子
北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2
電話　0173（22）３７６５

子ども時代の経験から学ぶこと

保育教諭　三　浦　愛　美

10月は作品展が行われ、子どもたちは作品作りをはじめ、歩き遠足、豚汁・おむすび作りなど体験行事を楽しみました。つるた乳幼児園は自然を大切にし、自然と共に生きていくことを考え、教育・保育を展開しています。

作品作りでも、木の実や落ち葉、野菜の種や皮などを利用したり、お菓子の箱や袋など廃材を再利用したりしています。子どもたちは「これは何の形に見えるかな？」「こうしたらどうなるだろう？」と考え、試しながら自然と触れ合い、作品作りを楽しんでいます。ピンク色のダンゴムシがいたり、虹色のアリがいたりと、子どもの想像力は無限でとても楽しい世界です。そんな発見や面白いことがたくさんある自然の中で、子どもたちは日々いろいろなことを体験して学び、成長しています。大人から見れば何でもないようなこと、もしかしたら危険なことも、子どもは知らないことだから、やってみたらどうなるのか分からないから、やってみようとします。やってみて楽しかった、成功したことは、何度でも喜んで繰り返し挑戦します。反対に怪我をした、怖い思いをした時は、これは危ないな、やってはいけないなと自分で学びます。

大人の方たちも過去を振り返った時に、こういう失敗があったなという経験はないでしょうか？　私も思い返すといろいろと失敗した経験があります。小学生の頃、自転車で遊びに行った帰りに、急な土砂降りの雨に遭い、猛スピードで自転車を走らせ、道路を横断するために一時停止しようとしてブレーキをかけたら止まれず、道路に飛び出したことがあります（幸い車は来なかったです）。その時に、雨の日は急に止まれないということを、身をもって知ることができました。

そういう経験の積み重ねで、少しずつ危険なことを理解し、危険を予測して怪我を回避する力が身に付いていくのだと思います。また失敗の経験から成功するために考えたり、できるようになるまで再挑戦したりと次へのステップとなり、それもまた成長です。

子ども時代に自然の中でたくさんの遊びや経験を積み重ねることで大きな怪我を防ぎ、将来の自信につながっていくということを思いながら、この乳幼児期を大切に考え、これからも子どもたちと一緒にたくさんの体験をしていきたいと思います。



◆報　告◆

◎秋の体験

・五農体験　9月29日(火)

春に一緒に種をまいた学生達との再会を喜び合い、枝豆の収穫を楽しんできました。枝豆は持ち帰り、午後のおやつでおいしくいただきました。

・秋の遠足　10月1日(木)

かなりやは園から、うぐいす・ひばりは尾原の無人直売所から、自然を肌で感じながら富士見湖パークをめざして歩きました。すみれは丹頂鶴自然公園の鶴を間近で見てきました。手作り弁当は園で食べました。

◎豚汁・おむすび作り　10月21日(水)　※写真

園の畑で育てた野菜を入れ、かなりやが調理体験をしました。近隣の方、支援センター利用の方と一緒に、豚汁と新米おむすびを食べ、触れあいました。

◎幼児教育講座　10月5日(月)

食育サポーターさんから、食事のマナーや正しい箸の持ち方。そして食事前後のあいさつに、たくさんの感謝が込められているというお話を聞いてきました。





◆行　事◆

◎点灯セレモニー　11月30日(月)　午後4時～

◆おしらせ◆

9月1日より生活道路は30㎞制限となりました。渋谷ガソリンスタンドから園まで、園から亀田方面道路は生活道路です。警察から指導が入りました。くれぐれも時速を守って走行して下さい。

●子育て支援センターより●

◎11月のリフレッシュタイム（毎週水曜日）

4日、11日、18日、25日

◎いのちのまつり参加　11月14日(土)・15日(日)







